



ハ高新時代!! 君も挑戦、ハ高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年10月9日(木)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

38

防災避難訓練で、次の話をしました。

1925年5月23日、マグニチュード6.8の北但馬地震が発生し、その後の火災で豊岡、城崎が壊滅的な被害を受けました。いわゆる「北但大震災」です。この大災害から、今年の5月で100年が経過しました。

この間、但馬では2004年10月20日の台風23号による水害など、大きな災害を幾度となく経験してきました。自然災害の発生は予測が困難で、まさに「今」、なにかが起こってもおかしくありません。

予期せぬ災害に対する備えとして、私たちが備えておくべきものの一つは、「見えないものに気づく力」です。

1 もし~だったら、どうやってそれを回避できるだろう、と考える想像力を持ちましょう。今日の訓練とは異なる場所で火災が発生したら…。訓練とは異なる教室で授業を受けている時だったら…。休み時間中や放課後だったら…。地震で階段がくずれていたり、ドアがゆがんで開かなかったりしたら…。あらゆる危険を回避する最善の方策を考える知恵が、あなたを、そしてあなたの大切な人を救うのです。

2 なんらかの事情で避難行動や情報収集に困難を抱えている人はいないだろうか。支え合って共に動く、という意識を持ちましょう。

「あなたは大切な人」という明確な意識を持ち、皆で行動に移すことができる、そのような学校であり続けましょう。